家族



『きょうはふっくら にくまんのひ』

刈ッサ・イワイ/作 横山和江/訳 偕成社



今日は特別な日。アパートのおばあちゃんたちが、 りょうり 料理を作っています。足りない材料をとどけに、 リリはあっちの階にいったり、こっちの階にいったり。 さあ、パーティのはじまりです!



『はじめましての ダンネバード』

工藤純子/作マコカワイ/絵くもん出版

ネパールからの転校生エリサは、クラスで日本語を まゅうしょく 話さない。給食も食べないし、学校も休んでばかり いる。外国人は、特別あつかいなの?学校には来な くてもいいの?



『おとなって こまっちゃう』

ハビエル・マルピカ/作 宇野和美/訳 山本美希/絵 偕成社

サラのおじいちゃんが再婚することになった。サラは 大賛成だけど、ママは大反対!パパやサルおじさん さくせん と作戦を立てても、失敗ばかり。どうしたらうまくいく のかな。



足立区立中央図書館 TEL 03-5813-3740

やさしさ



『あの子はぼくらの スーパースター』

フラン・ピンタデラ/文 ラクウェル・カタリーナ/絵 せなあいこ/訳 評論社

マダーニくんは、サッカーのスーパースター。シューズをはいたらもっとすごくなるのに、いつもはだしで走っている。試合の日、お金をためたマダーニくんが買ったものはなに?



『わたしとあなたの ものがたり』

アト゛リア・シオト゛ア/文 エリン・K・ロ・・ンソン/絵 さくまゆみこ/訳 光村教育図書

わたしは子どものころ、クラスでたったひとりの黒人だった。黒人の歴史をまなぶとき、まわりの目線が気になり消えてしまいたくなった。でもむすめのあなた
 には、そうおもわないでほしいの。



『バスが来ましたよ』

由美村嬉々/文 松本春野/絵 アリス館



目の見えないわたしは、今日からひとりでバスに乗って仕事場に行きます。不安な気持ちでバスを待っていると「バスが来ましたよ」と、小さなかわいい声と手がそえられました。





知ると分かる。 すると変わる。 SDGs MODEL ADACH



本の世界は楽しいよ!

図書館にはワクワクする物語や面白い図鑑など、たくさんの種類の本があります。 いろいろな本を手に取って、自分に合う本を探してみよう。



むちゅう

いちげき 『一撃をねらえ!』

> あさだりん/作 酒井以/絵 金の星社



テスト用紙がお城の石垣へ飛んでいってしまい、困っていた奈央。すると、いつもはぼんやりしている楽くんが、軽々とのぼってとってきてくれた。どうやら楽くんはボルダリングを習っているみたい。



あだち電子図書館で読める本



読みやすい本





しぜん



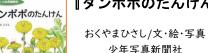
PIHOTEK 北極を風と歩く』

荻田泰永/文 井上奈奈/絵 講談社





ほっきょく ぼうけん 北極を冒険する僕は、たった一人で氷の上を歩く。 そこには、きびしい自然の世界をそれぞれの方法で 生きぬく、さまざまな動物たちがいる。北極の空に は、彼らの命が風になって飛んでいた。





春になると道ばたなどで見かけるタンポポ。日本中 で見られるセイヨウタンポポを中心に、花が日に当 たると開き、暗くなると閉じるふしぎな性質などを 紹介しています。

かんきょう



『お山のライチョウ』

戸塚学/写真·文 小宮輝之/監修 偕成社





ライチョウは、神の使いとして大切にされてきた。高 山に住み、冬は雪景色に溶けこみ、羽がまっ白にな まんだんか る。しかし、地球温暖化が進み、ほかの動物が高山 に来たことで、数が減ってしまう。



『リサイクル・プラネット リサイクルが地球の資源をすくう!』

アンナ・クレイボ -ン/作 大山泉/訳 評論社

ごみは年々ふえつづけ、大きな問題となっています。 使いすてから、もう一度使う「リサイクル」にかえてい くために、わたしたちはどんなことができるのでしょ うか。



『だれのからだ? もようやかたちでわかる 動物のひみつ

小宮輝之/監修・からだ写真 有沢重雄/構成·文 偕成社



おしりのしまもようが細かいシマウマはどれ?夏と冬 で毛の色がぜんぜんちがうのはなに?説明やヒント を読んで、どの動物の体か当ててみよう。



『海を科学するマシンたち しんかい6500 深海のひみつをさぐれ!』

山本省三/作 友永たろ/絵 くもん出版

「しんかい6500」は、深海をさぐって色々ななぞを 明らかにする、有人潜水調査船です。どうやっても ぐるの?空気はどこから?など、「しんかい6500」の ひみつにせまります。

まほう



よみやすい本には ハムハムがいるよ © Yo & Motoko

『タンポポのたんけん』



『ブロッケンの森の ちっちゃな魔女』

アレクサンダ ー・リースケ/原作 西村佑子/翻訳·翻案 ももろ/絵 静山社



森にひとりきりで住んでいたミニーは、旅人のハイ ネから読み書きを習いました。そして、森にうめられ ていた魔法の本を読んだら、魔法が使えるようにな りました。



『にわか魔女の タマユラさん』

伊藤充子/作 ながしまひろみ/絵 偕成.社



喫茶店の店主タマユラさんは、お客さんから黒いカ バンをあずかることになった。その中から出てきた黒 ネコに名まえをつけると、急にしゃべりはじめた!

ゆうじょう



『パフィン島の

とうだいもり
灯台守』

マイケル・モーハ゜ーコ゛/作 ベンジー・デイヴィス/絵 佐藤見果夢/やく 評論社

そふぼ やしき とちゅう そうなん イギリスの祖父母の屋敷に行く途中、船が遭難し、 とうだいもり パフィン島の灯台守に助けられた。彼にもらった絵 を見て、つらいことをのりこえてきたぼくは、もう一度 パフィン島に行くことを決心する。

たいけんじゅぎょう
「おとな体験授業」の日。あすかたち5人は、どんな

おとなになりたいかを紙に書いて、金色の液体に入

れました。ところが、紙をごちゃまぜに入れたことで、



『戦争をやめた 人たち 1914年のクリスマス休戦』

鈴木まもる/文・絵 あすなろ書房



ドイツとイギリスが向かい合う戦場で、「きよし この よる」が聞こえてくると、兵士たちはいっしょに歌い、 クリスマスをいわった。ふたたび戦争が始まっても、 ^{じゅう} 銃であいてをうつことはなかった。



おかしなことになっちゃった!

『おとな体験授業?』

なかがわちひろ/作 アリス館



『ふしぎな メリーゴーラウンド』

リーザ =マリー・ブ ルーム/作 はたさわゆうこ/訳 こやまこいこ/絵 徳間書店



移動遊園地で人気の木ぼりの動物がついたメリー ゴーラウンド。じつは、この動物たちにはひみつがあ りました。夜の30分だけ、食べたり話したりすること ができるのです。

